

令和4年5月20日

全国重症心身障害児（者）を守る会  
各支部長 様  
各運動推進委員 様  
各ブロック事務局長 様

全国重症心身障害児（者）を守る会  
会 長 北浦 雅子

### 既存規格接続コネクタ存続について（通知）

経腸栄養分野の小口径コネクタ製品について、令和4年5月20日発出された通知により、既存規格（旧規格）製品の製造・出荷停止は行わず、旧規格製品を必要とする場合には使用することが可能となりましたので、情報提供いたします。

#### 【これまでの経緯】

当会では、新規格製品はネジ式のため、不衛生になりやすいこと、薬の微調整が難しいこと、ご家族や看護師の負担感などを理由に、皆様から寄せられた切実な声によって旧規格製品の存続を訴え、令和元年12月24日、令和2年12月21日（日本重症心身障害学会・日本重症心身障害福祉協会と三団体連名）に要望書を提出しました。また、ミキサー食注入で健康をのぞむ会（代表：下釜櫻子）の呼びかけによる署名活動に協力し、2万2千筆の署名が集まりました。こうした動きを受けて、国会議員の先生方が経腸栄養コネクタ議員連盟（会長：根本匠衆議院議員、座長：木原誠二衆議院議員）を立ち上げ、この問題について勉強会を開き、私たちの声を後押しして下さいました（両親の集いNo.746・747参照）。

令和3年2月16日付で、出荷の停止期限を令和4年11月末まで1年延長する通知が出されていきました。その猶予期間に、課題把握および対応策立案に向けた研究班（厚生労働科学特別研究事業）による検討が行われ、その結果・提言を踏まえ、このたびの通知（添付）が発出されました。

### 【通知内容について】

通知文には、「ミキサー食・半固形化された栄養剤や流動食が、本邦における経腸栄養分野で普及しており、QOL 向上に関する報告もなされていること等も踏まえた検討が必要である。長期的には、医療・介護時の安全性と利便性の両立が可能な新たな製品の開発等が望まれる。しかしながら、それまでの間、新規格製品の使用が困難であり、かつ旧規格製品を使用することについて、その目的に見合った医学的理由がある場合において、旧規格製品使用によるリスク等も含めたインフォームド・コンセントが行われ、旧規格製品の使用についての情報共有や記録が作成されている場合には、旧規格製品の使用を可能とする。」と明記されています。

現在、新規格を使用している場合でも、旧規格に戻して在宅物品を支給いただくことは可能です。ただし、病院等によってはすでに新規格に移行しているため、まとまったニーズがないと希望しても対応いただけない可能性があります。

この通知について、会員の皆様をはじめ旧規格製品を必要とする方々に広く周知するため、当会でパンフレット（添付）を作成しました。当会のホームページから印刷できますので、主治医やかかりつけ医等に説明する際に、通知文とともにご活用ください。

### 【添付資料】

- ・ 経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切替えに係る方針の一部見直しについて  
(通知)
- ・ 既存規格接続コネクタ存続します (パンフレット)